



# すみだ バス巡り さんぽ

## BUS MAP



# 3



### 【南部ルート】 鬼平の活劇を思い描き 高札をたよりにゆかりの地を訪ねる

池波正太郎の人気時代小説の主人公で、寛政年間(1789~1800)に火付盗賊改方長官として活躍した長谷川平蔵は実在の人物でもあります。本所地域は事件現場に数多く登場し、その地に「鬼の平蔵」といわれた容赦のない捕縛劇が高札となって物語られ、鬼平ファンにはたまらぬ道標となっております。

# 1

### 【北西部ルート】 すみだを誇る世界の絵師 葛飾北斎が描いた景勝地めぐり

世界的に知られた絵師・葛飾北斎は、宝暦10(1760)年9月23日に現在の墨田区で生まれ、生涯の大半を区内で過ごし、数多くの傑作を残しました。その中には「すみだ」を題材にした秀逸な浮世絵や肉筆画が少なくありません。北斎作品を觀賞しながらその写生地を訪ね、彼の生きた化政時代の文化へ思いを馳せてみませんか。



### 【北東部ルート】 江戸っ子自慢の行楽地 風情漂うすみだ情景さんぽ

庶民の町として発展してきた「すみだ」。江戸の人々の娯楽といえば、神社仏閣めぐり。信仰することが娯楽の一つでもありました。水路の発達したこの地区は四季の花鳥風月を楽しめるとあって、多くの行楽客で賑わっていました。ちょっとした遠出でお洒落に磨きをかけ、粋でいなせな江戸っ子の気質が育まれました。その足跡を訪ねましょう。



7時台~19時台の間、各ルートとも概ね15分間隔にて運行しています。

**運賃** 大人100円(中学生以上) 小児50円(小学生)

- ・未就学児、乳児、障害者の方は無料
- ・ICカード(PASMO・Suica等)もご利用可能です
- ・シルバーバスはご利用できません

**1日乗車券** 300円 3ルート乗り放題

1日乗車券はバス車内で購入できるほか、産業観光プラザ すみだまち処、吾妻橋観光案内所、両国観光案内所等でも販売しています。

バスの運行に関するお問い合わせ先：京成バス(株) 奥戸営業所 TEL 03-3691-0935

墨田区内循環バスで巡る



### 【南部ルート】 鬼平の活劇を思い描き 高札をたよりにゆかりの地を訪ねる

# すみだバス巡りさんぽ



回向院



大横川親水公園



吾妻橋



区内循環バス



茶店笹や



弥勒寺



本所松坂町公園

すみだ  
まち歩き  
博覧会  
SUMIDA MACHIARUKI FES

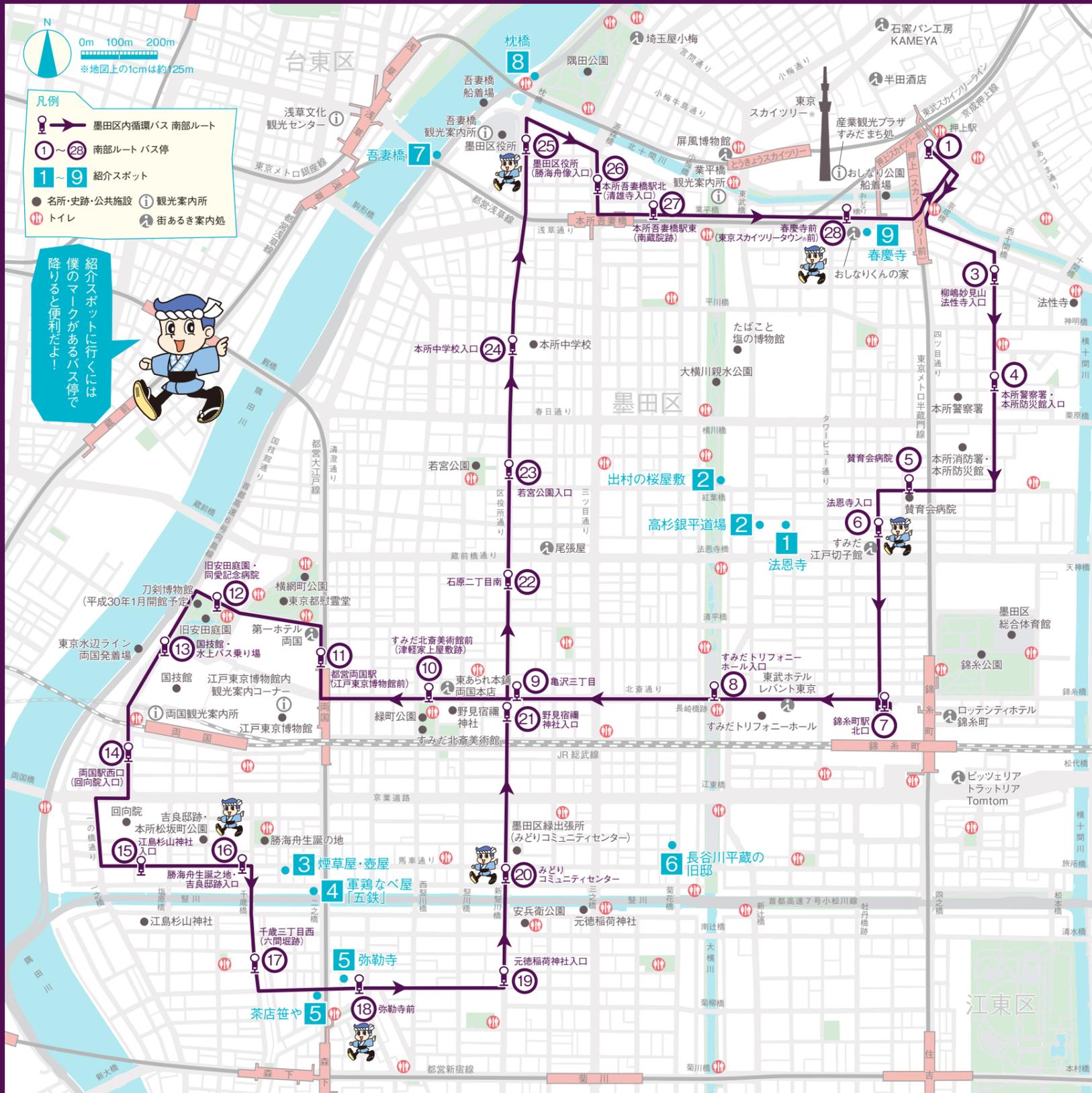
# すみだバス巡りさんぽ

## 3 【南部ルート】 鬼平の活劇を思い描き 高札をたよりに ゆかりの地を訪ねる

池波正太郎の人気時代小説の主人公で、寛政年間(1789~1800)に火付盗賊改方長官として活躍した長谷川平蔵は実在の人物でもあります。本所地域は事件現場に数多く登場し、その地に「鬼の平蔵」といわれた容赦のない捕縛劇が高札となって物語られ、鬼平ファンにはたまらぬ道標となっております。

### ROUTE (1周 約60分)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1 押上駅                 | 16 勝海舟生誕之地・吉良邸跡入口      |
| 3 柳嶋妙見山法性寺入口          | 17 千歳三丁目西(六間堀跡)        |
| 4 本所警察署・本所防災館入口       | 18 弥勒寺前                |
| 5 賛育会病院               | 19 元徳稲荷神社入口            |
| 6 法恩寺入口               | 20 みどりコミュニティセンター       |
| 7 錦糸町駅北口              | 21 野見宿禰神社入口            |
| 8 すみだトリフォニーホール入口      | 22 石原二丁目南              |
| 9 亀沢三丁目               | 23 若宮公園入口              |
| 10 すみだ北斎美術館前(津軽家上屋敷跡) | 24 本所中学校入口             |
| 11 都営両国駅(江戸東京博物館前)    | 25 墨田区役所(勝海舟像入口)       |
| 12 旧安田庭園・同愛記念病院       | 26 本所吾妻橋駅北(清雄寺入口)      |
| 13 国技館・水上バス乗り場        | 27 本所吾妻橋駅東(南蔵院跡)       |
| 14 両国駅西口(回向院入口)       | 28 春慶寺前(東京スカイツリータウン®前) |
| 15 江島杉山神社入口           | 1 押上駅                  |
- 片方向循環ルート



**9 春慶寺** 業平2-14-9  
平蔵の剣友、岸井左馬之助の寄宿先の寺。左馬之助役を演じた有名俳優が揮毫した「岸井左馬之助の寄宿の寺」という石碑が建てられています。【バス停28から徒歩約2分】

**8 枕橋**  
向島1-1(隅田公園内)「蛇の眼」で平蔵の勘が、蛇の平十郎の去っていく姿に「あやしい奴」と感じた場所、当時は源兵衛橋と呼ばれていました。【バス停25から徒歩約3分】

**7 吾妻橋**  
吾妻橋1-23(隅田川緑道公園内)  
安永3(1774)年、江戸時代明和の大火後に架けられた橋。当時は大川橋と呼ばれ、小説の中でもたびたび登場します。現在の橋は震災復興橋梁として昭和6(1931)年に架橋されました。【バス停25から徒歩約5分】

**6 長谷川平蔵の旧邸** 緑4-12-7  
「鬼平」こと平蔵が27歳のときまで暮らしていた屋敷のあった場所です。父の宣雄が目黒行人坂の下手人を捕らえた手柄により京都町奉行に出世し、長谷川家はこの地を去りました。【バス停20から徒歩約10分】

**5 茶店笹や/弥勒寺**  
千歳3-5-8 立川1-4-13  
弥勒寺の門前にある茶店が笹や。弥勒寺の下男である茂平と、笹やのお熊婆さんは茶飲み友達。「お熊と茂平」では茂平が急逝し、お熊に遺言をのこすことから話が展開します。【バス停18から徒歩約2分/約0分】

## COLUMN

**1 法恩寺** 太平1-26-16  
太田道灌ゆかりの寺で、「本所桜屋敷」では平蔵と左馬之助が門前の茶店「ひしや」で20余年ぶりに旧交を温める場面に登場。「尻毛の長右衛門」は、この法恩寺から物語が始まります。【バス停6から徒歩約6分】



**2 出村の桜屋敷/高杉銀平道場**  
横川1-1(大横川親水公園内) 太平1-25-4  
鬼平と生涯の友・岸井左馬之助が出会い青春を刻んだ高杉銀平道場。その北側の田坂直右衛門の屋敷に暮らす孫娘おふさ。淡い思いを寄せる鬼平と左馬之助が横川に行くおふさの嫁入り舟を、万感の想いで見送る場面は心に残ります。【バス停6から徒歩約10分/約6分】



**3 煙草屋・壺屋** 両国4-4-5  
大盗・蓑火の喜之助の下で修業した盗賊・大滝の五郎蔵は捕縛された後、密偵となり、義父・舟形の宗平とこの店を始めました。後に夫婦となった女密偵のおまさも同居。多くの作品に登場します。【バス停16から徒歩約2分】



**4 軍鶏なべ屋「五鉄」**  
両国4-1-12  
二之橋の角、南側が竪川に面している場所にあったとされている。鬼平の行きつけの店。鬼平と配下の密偵たちが集まり、事件解決や情報収集の場として、重要な役割を果たしていました。【バス停16から徒歩約4分】



**鬼平ゆかりの地で北斎も傑作を生み出す**  
本所は小説「鬼平犯科帳」の舞台。主人公の長谷川平蔵は、若き日、「本所の鉄」と呼ばれ、土地のごろつきと放蕩の限りを尽くしましたが、そのことが火付盗賊改方に就任後、おおいに生きてきます。悪との独特の接し方、ポイントを外さない捜索、すべてがこの生活で培われてきたようです。また、この地は、すみだが誇る世界の絵師である葛飾北斎が生まれた地としても有名です。本所割下水(現、亀沢付近)で生まれた北斎の名は世界的に知られており、優れた描写力は、絵画界はもとより音楽、工芸など様々な分野へ浸透し、世界で最も知られた日本人の一人とされています。生誕地となる北斎通りには彼の代表作100点(複製)ほどが灯籠型の街路灯に展示されており、訪れる者の目を楽しませてくれます。

